

年 月 日

仙南地域広域行政事務組合
消 防 署 長 殿

住 所

申告者 職業（職）

氏 名

り災申告書（林野・その他の物件用）

1	り災年月日	年 月 日	り災物件と申告者との関係	☐ 占有者・ ☐ 管理者・ ☐ 所有者 ☐ その他（ ）			
	り災場所						
2 林 野	林野火災区分		☐ 森林・ ☐ 牧野・ ☐ 雑木林・ ☐ 原野・ ☐ その他（ ）				
	※ 森 林 区 分 時 記 入	森林所有区分	☐ 私有・ ☐ 国有・ ☐ 都道府県有・ ☐ 市町村有・ ☐ 森林組合 ☐ 財産区・ ☐ その他（ ）				
		森 林 種 別	☐ 普通林・ ☐ 制限林（保安林・特別保護地区・その他）				
		森林材種他	☐ 人工林・ ☐ 天然林・ ☐ 伐採跡地 ☐ その他（ ）				
	樹 種	樹齡(年)	樹高(m)	直径(cm)	本数(本)	焼損面積(a)	損害見積額(円)
3 そ の 他	り災物件名	数量又は面積	り災別		使用年数	購入時価格(円)	
			☐ 焼損・ ☐ 消火・ ☐ 爆発				
			☐ 焼損・ ☐ 消火・ ☐ 爆発				
			☐ 焼損・ ☐ 消火・ ☐ 爆発				
4	火 災 保 険	契 約 会 社 名				保 険 金 額 (万円)	
5	今後の連絡先	氏名		電話			

り災申告書（林野・その他の物件用）記載要領

（１の欄）

- 1 り災物件と申告者との関係は、当てはまるものにチェックをしてください。
- 2 り災した場所の欄は、火災になった場所を記入してください。

（２の欄）

- 1 各区分は、以下を参考に当てはまるものにチェックをしてください。

「森林」とは、林野法第２条第１項にいう森林と同意義であり、木竹が集団して生育している土地及びその土地の上にある立木竹、又は木竹の集団的な生育に供される土地をいう。「牧野」とは、牧野法第２条にいう牧野と同意義であり、主として家畜の放牧又はその飼料若しくは敷料の採取の目的に供される土地、又はここである牧野の概念に該当するものを含む。「原野」とは、雑草、灌木類が自然に生育している土地で人が利用しないものをいう。

- 2 樹種ごとに、樹齢、樹高、直径、本数、面積などを記入してください。
- 3 損害見積額の欄は、原木価格又は山元立木価格などを参考に記入してください。

（３の欄）

- 1 り災物件の欄は、損害を受けた物品ごとに数量又は面積を記入してください。
- 2 り災別の欄は、当てはまるものにチェックをしてください。

- (1) 焼損：火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融又は破損したもの
- (2) 消火：消火のために受けた水損、破壊、煙により汚れたもの、運び出すときに壊れたもの
- (3) 爆発：爆発により、壊れたもの

- 3 購入時価格の欄は、損害を受けた物件の品名と数量を記入し、損害を受けた物件の購入時の価格と使用年数を記入してください。

なお、使用年数は整数とし、１年未満の端数は切り捨てとします。

（４の欄）

- 1 火災保険の加入会社が数社ある場合は、すべて記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万円単位で記入してください。

（５の欄）

申告者に連絡する場合がありますので、連絡先を記入してください。

（備考）

- 1 この申告書は、消防法第３４条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した日から起算して７日以内に提出してください。
- 3 火災によるり災証明を申請する場合、この申告書が出ていると早く交付することができます。
- 4 この申告書は、鉛筆等を避け、黒ボールペン等で記入してください。
- 5 この申告書で分からないことがありましたら、最寄りの消防署までご連絡ください。